

平成30年度 NPO法人 特別支援教育研究会

未来教室・楷樹サークル

自己評価結果

平成30年度、事業所の自己評価を行いました。

NPO法人 特別支援教育研究会として各評価をとらせていただき
その結果を公表いたします。

また、この結果を受けて新年度の計画を立てていきます。

記

- | | | | |
|---|------|---------|-----------|
| 1 | 評価者 | 利用者保護者 | 11名 |
| | | 事業所職員 | 4名 |
| 2 | 評価期間 | 平成30年4月 | ～ 平成31年3月 |
| 3 | 評価時期 | 平成31年1月 | |
| 4 | 評価内容 | | |

(1) 教室運営について

- ・開所時間（8:00～17:00）
- ・教育方針について
- ・預り金等について
- ・支援体制について
- ・支援内容について

(2) 活動内容等について

- ・ 個別の支援計画について
- ・ 行事について（年2回の宿泊、毎月の避難訓練、防災宿泊体験について、その他の行事）
- ・ 一週間の活動について ・ 仕事体験について

(3) 自由記述

5 評価結果

<利用者保護者評価より>

(1) 教室運営について

- ・ 8：00～17：00 の開所時間については、利用者の保護者はほぼ妥当と回答している。延長時間を希望している保護者があるが、職員の勤務時間にも影響するので延長はしない方向である。個別に対応したい。
- ・ 教育方針についても100%納得していただいている。
- ・ 預り金（食費）についても現在の清算の方法についてご理解をいただいている。
- ・ 支援体制については現在の体制に納得頂いているが更なる人員増を図り、きめ細かな支援、指導を目指していく。

(2) 活動内容について

- ・ 支援内容についてはほぼ満足頂いている結果が出ているが、今後も個の特性に即した支援、指導を心がけていく。
- ・ 個別の支援計画も適切であると評価をいただいているが、指導計画も含め、必要に応じて見直していく。
- ・ 年間を通じて行事については適切であると評価されている。宿泊学習の場所及び防災宿泊の在り方（女性指導員の欠員等）を検討、改善していく。
- ・ 避難訓練は今後も毎月実施していく。
- ・ 毎週行っている活動には納得頂いている。毎時間の授業の内容を更に充実したものにしていく。
- ・ 仕事体験できるだけ多く参加させるように考えていく。

(3) 自由記述への回答

- ・ 今年度の教室、サークルの運営、活動にはほぼ満足頂いている。来年度も今年度の踏襲に終わらず、新たな活動も実施していく。
- ・ 未来教室では「仕事体験」として活動。カキノキサークルでは「仕事」として活動させていく。

- ・ 12月の活動最終日を、12月27日とせず12月28日までとする。

<事業所内評価より>

(1) 教室運営について

- ・ 開設時間等は妥当。利用者のご希望で延長をしてきた。今後も保護者の納得を得られる運営をしていく。
- ・ 教育方針については保護者にも納得してもらっており、利用者の成長発達に即して行っている。
- ・ 私費の扱いについては利用状況によって預り金等の金額を決めあずかり、月末に精算、翌月初めに返金精算をした。
- ・ 利用者数も増えた中、ボランティア等が集まらず支援人員の確保が大変だった。

(2) 活動内容について

- ・ 個別の支援計画に基づき支援、指導を行ってきた。個々のニーズに合わせて支援できたと考える。
- ・ 個別の学習に関しては成長、発達に伴い更なる見直しが必要となる。

- ・ 行事に関しては身を守るための避難訓練は毎月でき、利用者の震災時等の危機意識も高まってきた。
- ・ 買い物、調理など自立に向けた活動の機会を増やす。
- ・ 宿泊学習は一年かけて旅行地の変更を考えていきたい。
- ・ 特別授業（講師による授業）は、内容等も定着してきた。授業に対する利用者の意識も高くなってきた。
- ・ 仕事体験については、活動場所の開拓を必要とする。
- ・ 防災宿泊等宿泊行事では同性支援を基本としているので女性引率者が不足している。
- ・ 利用者への支援のあり方については都や区の虐待防止研修を受け、伝達研修を行ったり、利用者の情報の共有を諮ったりして、その対応、支援のあり方を学んでいる。今後も継続して支援、指導の在り方を互いに学び合っていく。

平成 31 年 3 月 28 日

NPO 法人 特別支援教育研究会